



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD
コード番号 9759 URL <https://www.nsd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートセクレタリー部長 (氏名) 八木 清公 (TEL) 03-3257-1250
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 24,007 | 29.1 | 3,376 | 16.9 | 3,377 | 15.9 | 1,688 | △5.9 |
| 2023年3月期第1四半期 | 18,594 | 10.2 | 2,888 | 15.5 | 2,915 | 15.4 | 1,794 | 12.9 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,955百万円(△1.1%) 2023年3月期第1四半期 1,977百万円(24.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 21.97 | 21.97 |
| 2023年3月期第1四半期 | 23.05 | 23.05 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 70,515 | 53,037 | 74.1 |
| 2023年3月期 | 68,159 | 55,458 | 80.3 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 52,223百万円 2023年3月期 54,709百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | - | 10.00 | - | 57.00 | 67.00 |
| 2024年3月期 | - | - | - | - | - |
| 2024年3月期(予想) | - | 0.00 | - | 68.00 | 68.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|--------|------|--------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 47,450 | 25.6 | 6,300 | 5.5 | 6,300 | 4.8 | 3,800 | △27.5 | 49.44 |
| 通期 | 97,000 | 24.4 | 14,000 | 11.8 | 14,000 | 10.6 | 8,700 | △14.9 | 113.18 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。当第1四半期連結会計期間において株式取得に伴い、株式会社アートホールディングス及びその子会社7社並びに株式会社ノーザ及びその子会社1社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 87,000,000株 | 2023年3月期 | 87,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 10,131,820株 | 2023年3月期 | 10,131,584株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期1Q | 76,868,233株 | 2023年3月期1Q | 77,854,557株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- ・四半期決算補足説明資料は、2023年7月31日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (収益認識関係) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【環境認識】

当第1四半期における我が国経済につきましては、物価上昇や円安の進展等により景気の先行きに不透明感があつたものの、社会経済活動の正常化に伴い、インバウンド消費をはじめ個人消費が回復したほか、企業業績や雇用情勢についても改善の動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような中、当社グループが属する情報サービス産業につきましては、引き続きDX（デジタルトランスフォーメーション）に向けた旺盛なIT投資が進むとともに、基幹システムの刷新ニーズ等もあり、受注環境は良好に推移しました。

【当第1四半期連結累計期間の取り組み】

当社グループは、2022年3月期を初年度とする5ヵ年の中期経営計画を策定し、計画期間中に連結売上高1,000億円を超える企業グループを目指しています。

なお、2023年3月期までの業績拡大が順調に進捗していることを踏まえ、計画最終年度となる2026年3月期の業績目標につきましては、当初目標から10%積み増し、売上高1,100億円、営業利益165億円に上方修正しました。

当社グループは、業績目標の達成に向け、社会的ニーズの強い新技術・DX関連のシステム開発を成長ドライバーとして、システム開発事業の持続的な拡大を進めるとともに、ソリューション事業を第2の収益の柱とするため、新たなソリューションの創出と販売力の強化を進めています。

また、M&Aを活用し、深刻化するシステム・エンジニア不足への対応や、ソリューションのラインアップの充実にも積極的に取り組んでいます。

以上の方針の下、当第1四半期連結累計期間においては、4月にシステム開発事業に強みのあるアートホールディングス株式会社を子会社化し、400名超のシステム・エンジニアを増員しました。同社を持株会社とするアートグループは、福井県を本拠地とし、保険、クレジットカード、電機、電子機器、自動車等の大手優良企業からなる顧客基盤と、地元優良企業として質の高い人財を擁しています。

また、5月にはデンタルシステム事業に強みのある株式会社ノーザを子会社化し、歯科向けレセプトコンピュータシステムや透析業務支援システムなどの医療領域のソリューションを充実させ、ソリューション事業の強化を図りました。

【当第1四半期連結累計期間の実績】

当第1四半期連結累計期間の実績につきましては、IT投資への旺盛な需要を背景に受注を着実に積み上げたほか、M&Aの効果もあり、以下のとおりとなりました。

単位：百万円

| | 2023年3月期 第1四半期 | 2024年3月期 第1四半期 | 前年同期比 | |
|------------------|-------------------|-------------------|-------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| システム開発事業 | 16,652 | 21,091 | 4,439 | 26.7% |
| ソリューション事業 | 1,941 | 2,915 | 974 | 50.2% |
| 売上高 | 18,594 | 24,007 | 5,413 | 29.1% |
| うち 新コア事業 | 6,413 | 9,636 | 3,223 | 50.3% |
| 営業利益 | 2,888 | 3,376 | 488 | 16.9% |
| 経常利益 | 2,915 | 3,377 | 462 | 15.9% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,794 | 1,688 | △105 | △5.9% |

| | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| EBITDA | 3,064 | 3,935 | 870 | 28.4% |
| EBITDAマージン | 16.5% | 16.4% | △0.1% | — |

※ 新コア事業とは、新技術・DX関連のシステム開発事業、及びソリューション事業をいいます。

※ EBITDAは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」により算出しています。

売上高につきましては、システム開発事業及びソリューション事業とも順調に拡大し、前年同期比29.1%増収の24,007百万円となりました。このうち注力分野である新コア事業につきましては、クラウドを利用した新技術・DX関連のシステム開発事業が大きく伸長したほか、新たなソリューションによる売上も寄与し、前年同期比50.3%増収の9,636百万円となりました。

営業利益は、ベースアップやのれん償却の発生などの費用の増加もありましたが、これらを吸収し前年同期比16.9%増益の3,376百万円となり、経常利益は前年同期比15.9%増益の3,377百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税効果の対象とならないのれん償却の増加等により、実効税率が上昇した結果、前年同期比5.9%減益の1,688百万円となりました。

【セグメント別の実績】

セグメント別の実績は以下のとおりとなりました。

(セグメント別売上高)

単位：百万円

| | | 2023年3月期 第1四半期 | 2024年3月期 第1四半期 | 前年同期比 | |
|--------------|-----------|-------------------|-------------------|-------|-------|
| | | | | | |
| システム 開発事業 | 金融IT | 5,896 | 7,522 | 1,625 | 27.6% |
| | 産業・社会基盤IT | 8,333 | 10,791 | 2,458 | 29.5% |
| | ITインフラ | 2,472 | 2,837 | 365 | 14.8% |
| ソリューション事業 | | 1,945 | 2,918 | 972 | 50.0% |
| 調整額 | | △53 | △62 | △8 | — |
| 合 計 | | 18,594 | 24,007 | 5,413 | 29.1% |

(セグメント別営業利益)

単位：百万円

| | | 2023年3月期 第1四半期 | 2024年3月期 第1四半期 | 前年同期比 | |
|--------------|-----------|-------------------|-------------------|-------|-------|
| | | | | | |
| システム 開発事業 | 金融IT | 1,053 | 1,407 | 354 | 33.6% |
| | 産業・社会基盤IT | 1,325 | 1,476 | 151 | 11.4% |
| | ITインフラ | 421 | 429 | 8 | 2.0% |
| ソリューション事業 | | 147 | 153 | 6 | 4.5% |
| 調整額 | | △58 | △90 | △31 | — |
| 合 計 | | 2,888 | 3,376 | 488 | 16.9% |

※ セグメント間の内部取引を含んだ計数を記載しています。

※ 調整額とは、セグメント間取引消去額および全社費用（セグメントに帰属しない一般管理費等）をいいます。

<システム開発事業（金融IT）>

金融向けソフトウェア開発事業につきましては、システム更改案件をはじめ既存案件の拡大により大手銀行、保険会社、カード会社からの受注が大きく伸長したほか、アートグループをM&Aした効果もあり、売上高は、前年同期比27.6%増収の7,522百万円となりました。営業利益は、収益性の改善もあり33.6%増益の1,407百万円となりました。

<システム開発事業（産業・社会基盤IT）>

産業・社会基盤向けソフトウェア開発事業につきましては、製造業、通信業、商業からの受注が大きく伸長したほか、アートグループ及びTrigger株式会社をM&Aした効果もあり、売上高は、前年同期比29.5%増収の10,791百万円となりました。営業利益は、のれん償却額の増加もあり、11.4%増益の1,476百万円となりました。

<システム開発事業（ITインフラ）>

ITインフラ事業につきましては、官公庁向けインフラ構築案件、銀行・保険向けのクラウド案件など、公共団体や金融業からの受注が大きく伸ばした結果、売上高は、前年同期比14.8%増収の2,837百万円となりました。営業利益は、M&Aに伴う原価率の上昇により、2.0%増益の429百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業につきましては、医療・ヘルスケアやRFID関連のM&Aによる新規のソリューションが事業拡大に大きく貢献したほか、株主優待サービス等の既存のソリューションも順調に拡大した結果、売上高は、前年同期比50.0%増収の2,918百万円となりました。営業利益は、のれん償却額や販売費の増加により、4.5%増益の153百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産及び負債は、株式会社アートホールディングス及び株式会社ノーザの株式取得に伴う連結子会社化を主要因として各々増加し、総資産は前連結会計年度末比2,355百万円増加の70,515百万円、また、負債は、前連結会計年度比4,776百万円増加の17,477百万円となりました。

総資産増加の内訳は、棚卸資産の増加569百万円、土地建物の増加2,916百万円、のれんの増加14,599百万円、その他無形固定資産の増加714百万円、投資その他の資産の増加611百万円、並びに現金及び預金の減少17,897百万円などです。

負債増加の内訳は、買掛金の増加626百万円、短期借入金（一年以内返済予定の長期借入金を含む）の増加1,505百万円、長期借入金の増加2,157百万円、並びに未払法人税等の減少1,313百万円などです。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加1,688百万円、配当金支払いによる減少4,381百万円などから前連結会計年度末比2,420百万円減少し、53,037百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日に発表しました業績見通しに変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 38,366,801 | 20,469,001 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 16,077,460 | 16,359,154 |
| 有価証券 | - | 200,760 |
| 商品及び製品 | 189,871 | 564,677 |
| 仕掛品 | 4,025 | 13,399 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,698 | 196,123 |
| その他 | 505,137 | 827,039 |
| 貸倒引当金 | △34,700 | △43,579 |
| 流動資産合計 | 55,119,293 | 38,586,575 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 632,491 | 1,656,373 |
| 土地 | 196,186 | 2,088,898 |
| その他(純額) | 488,895 | 534,628 |
| 有形固定資産合計 | 1,317,573 | 4,279,900 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,582,414 | 17,181,679 |
| その他 | 593,871 | 1,308,612 |
| 無形固定資産合計 | 3,176,285 | 18,490,291 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,668,765 | 1,656,199 |
| その他 | 6,878,817 | 7,503,345 |
| 貸倒引当金 | △783 | △812 |
| 投資その他の資産合計 | 8,546,799 | 9,158,732 |
| 固定資産合計 | 13,040,659 | 31,928,924 |
| 資産合計 | 68,159,952 | 70,515,500 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,952,554 | 4,578,987 |
| 短期借入金 | - | 1,250,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | - | 255,600 |
| 未払法人税等 | 2,929,594 | 1,616,263 |
| 賞与引当金 | 477,113 | 439,944 |
| 役員賞与引当金 | - | 12,000 |
| 株主優待引当金 | 69,089 | 64,025 |
| 受注損失引当金 | 3,097 | 3,365 |
| 製品保証引当金 | 3,943 | - |
| その他 | 3,688,273 | 4,691,002 |
| 流動負債合計 | 11,123,665 | 12,911,188 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | - | 2,157,669 |
| 役員退職慰労引当金 | - | 13,972 |
| 退職給付に係る負債 | 955,696 | 1,334,341 |
| その他 | 621,843 | 1,060,407 |
| 固定負債合計 | 1,577,540 | 4,566,390 |
| 負債合計 | 12,701,206 | 17,477,579 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,205,864 | 7,205,864 |
| 資本剰余金 | 6,773,912 | 6,773,912 |
| 利益剰余金 | 51,070,853 | 48,378,241 |
| 自己株式 | △12,144,105 | △12,144,715 |
| 株主資本合計 | 52,906,525 | 50,213,303 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 575,729 | 677,651 |
| 土地再評価差額金 | △8,682 | △8,682 |
| 為替換算調整勘定 | 362,955 | 465,912 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 872,811 | 875,324 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,802,813 | 2,010,206 |
| 非支配株主持分 | 749,407 | 814,411 |
| 純資産合計 | 55,458,746 | 53,037,921 |
| 負債純資産合計 | 68,159,952 | 70,515,500 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 18,594,151 | 24,007,480 |
| 売上原価 | 14,602,275 | 18,577,161 |
| 売上総利益 | 3,991,875 | 5,430,318 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 447,056 | 633,009 |
| 賞与引当金繰入額 | 24,231 | 39,501 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 7,650 | 12,000 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | - | 349 |
| 退職給付費用 | 6,802 | 16,855 |
| 福利厚生費 | 115,083 | 170,978 |
| 賃借料 | 92,329 | 143,499 |
| 減価償却費 | 21,849 | 36,803 |
| 研究開発費 | 32,743 | 62,233 |
| のれん償却額 | 64,105 | 417,787 |
| その他 | 291,846 | 520,469 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,103,697 | 2,053,487 |
| 営業利益 | 2,888,178 | 3,376,831 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,090 | 1,146 |
| 受取配当金 | 17,027 | 13,000 |
| その他 | 28,715 | 23,689 |
| 営業外収益合計 | 46,833 | 37,835 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,188 | 3,503 |
| 持分法による投資損失 | 15,784 | - |
| 支払手数料 | - | 20,004 |
| その他 | 1,930 | 13,801 |
| 営業外費用合計 | 19,903 | 37,309 |
| 経常利益 | 2,915,108 | 3,377,358 |
| 特別利益 | | |
| 持分変動利益 | 413 | - |
| 特別利益合計 | 413 | - |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | - | 238 |
| ゴルフ会員権評価損 | 21,641 | - |
| 特別損失合計 | 21,641 | 238 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,893,879 | 3,377,120 |
| 法人税等 | 1,081,317 | 1,632,700 |
| 四半期純利益 | 1,812,562 | 1,744,419 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 18,086 | 55,531 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,794,475 | 1,688,887 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,812,562 | 1,744,419 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40,313 | 102,482 |
| 為替換算調整勘定 | 109,125 | 105,717 |
| 退職給付に係る調整額 | 11,738 | 2,513 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 4,121 | - |
| その他の包括利益合計 | 165,297 | 210,713 |
| 四半期包括利益 | 1,977,859 | 1,955,132 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,955,616 | 1,896,280 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 22,243 | 58,852 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | システム開発事業 | | | ソリューション 事業 | 計 | | |
| | 金融IT | 産業・社会基盤 IT | ITインフラ | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,896,578 | 8,291,164 | 2,465,169 | 1,941,238 | 18,594,151 | — | 18,594,151 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 42,307 | 7,395 | 4,206 | 53,909 | △53,909 | — |
| 計 | 5,896,578 | 8,333,471 | 2,472,565 | 1,945,445 | 18,648,061 | △53,909 | 18,594,151 |
| セグメント利益 | 1,053,025 | 1,325,595 | 421,186 | 147,202 | 2,947,010 | △58,831 | 2,888,178 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,831千円には、セグメント間取引消去22千円、全社費用△58,854千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | システム開発事業 | | | ソリューション 事業 | 計 | | |
| | 金融IT | 産業・社会基盤 IT | ITインフラ | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,512,368 | 10,748,680 | 2,830,934 | 2,915,497 | 24,007,480 | — | 24,007,480 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 9,927 | 43,212 | 6,908 | 2,535 | 62,583 | △62,583 | — |
| 計 | 7,522,295 | 10,791,893 | 2,837,842 | 2,918,032 | 24,070,064 | △62,583 | 24,007,480 |
| セグメント利益 | 1,407,334 | 1,476,634 | 429,609 | 153,891 | 3,467,470 | △90,638 | 3,376,831 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△90,638千円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「システム開発事業(金融IT、産業・社会基盤IT、ITインフラ)」「ソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社アートホールディングスの株式を取得し、同社及びその子会社7社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において11,210,202千円です。

また、「ソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社ノーザの株式を取得し、同社及びその子会社1社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において3,789,569千円です。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | システム開発事業 | | | ソリューション事業 | |
| | 金融IT | 産業・社会基盤IT | ITインフラ | | |
| システム開発 | 5,767,047 | 7,823,833 | 1,955,535 | — | 15,546,417 |
| 保守・運用 | — | 65,590 | 465,374 | — | 530,965 |
| その他 | 129,530 | 401,740 | 44,259 | — | 575,530 |
| サービス | — | — | — | 1,135,184 | 1,135,184 |
| プロダクト | — | — | — | 806,054 | 806,054 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 5,896,578 | 8,291,164 | 2,465,169 | 1,941,238 | 18,594,151 |
| 外部顧客への売上高 | 5,896,578 | 8,291,164 | 2,465,169 | 1,941,238 | 18,594,151 |

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|---------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| | システム開発事業 | | | ソリューション事業 | |
| | 金融IT | 産業・社会基盤IT | ITインフラ | | |
| システム開発 | 7,380,593 | 10,196,837 | 2,271,522 | — | 19,848,953 |
| 保守・運用 | 720 | 73,448 | 341,397 | — | 415,566 |
| その他 | 131,054 | 478,394 | 218,013 | — | 827,462 |
| サービス | — | — | — | 2,132,090 | 2,132,090 |
| プロダクト | — | — | — | 783,407 | 783,407 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 7,512,368 | 10,748,680 | 2,830,934 | 2,915,497 | 24,007,480 |
| 外部顧客への売上高 | 7,512,368 | 10,748,680 | 2,830,934 | 2,915,497 | 24,007,480 |